

令和3年度

置賜総合支庁運営プログラム

評価票

令和4年8月  
置賜総合支庁

# 令和3年度 置賜総合支庁施策体系

## I 第4次山形県総合発展計画の推進

### 1 「置賜」地域の総合力を結集した高付加価値産業群への進化

- ① 高い付加価値を創出するものづくり産業の競争力の強化
- ② 競争力の高い稼げる農業と「農と食」の連携による魅力の向上
- ③ 置賜版「森林ノミクス」の展開
- ④ 置賜ならではの資源を戦略的に活用した誘客の促進とインバウンドの拡大

### 2 「置賜」の持続的発展を支える、活力あふれる地域社会の形成

- ⑤ 結婚支援や妊娠・出産から子育てまでの切れ目のない支援体制の推進
- ⑥ 幅広い世代が住み慣れた地域で、健康で安心して暮らすための取組みの推進
- ⑦ 郷土愛を育み、互いに輝きあう地域づくりの推進

### 3 人々の交流で賑わう「置賜」を支え、地域の価値を高める社会基盤の形成

- ⑧ 高速交通ネットワークの形成促進
- ⑨ 地域公共交通の充実・確保
- ⑩ 再生可能エネルギーの導入促進による脱炭素社会形成の推進
- ⑪ 安全・安心で暮らせる地域づくりの推進

# 令和3年度 置賜総合支庁 主要事業実施状況

## I 第4次山形県総合発展計画の推進

### 1 「置賜」地域の総合力を結集した高付加価値産業群への進化

#### 取組みの成果

##### ① 高い付加価値を創出するものづくり産業の競争力の強化

K P I	置賜地域の製造業付加価値額					
	基準値 (H29 年度): 2,422 億円					
	指標値	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
		2,543 億円	2,664 億円	2,785 億円	2,906 億円	3,027 億円
	実績値	2,648 億円 (R 元速報: H31/1~R1/12)	—			
	進捗状況	その他 (R 2 以降の数値が未集計)				
	置賜地域における企業連携数 (累計)					
	基準値 (R1 年度): 1 グループ					
	指標値	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
		2 グループ	3 グループ	4 グループ	5 グループ	6 グループ
実績値	2 グループ	3 グループ				
進捗状況	指標値どおりに推移					

#### 【令和3年度における評価と見直しの方向性】

##### (評価)

- 山形大学による研究事業化支援、有機エレクトロニクス関連技術の事業化事例等に関する講座の開催を支援した。
- 管内企業グループの共同受注に向けた販路開拓の取組を支援し、県外企業との今後の取引に繋がる関係構築につながった。
- 若年技術者を対象とした機械装置の制御技術等に関する研修会の開催や、高校生が地域企業の協力のもと行うロボット製作学習等への支援を行った。
- 学生の管内定着を促進するため、管内3大学の学生及び4実業高校の生徒を対象に企業説明会(バスツアーによる現地説明会やオンライン説明会)を実施した。新型コロナウイルス感染拡大の影響等により、企業説明会(バスツアー)を計画したものの直前で中止となったものもあったが、事前にオンラインを活用した内容へ変更し実施できたものもあった。

##### (見直しの方向性)

- 企業間連携を一層進めるため、管内企業グループの立ち上げにつなげる勉強会や、企業が共同で行う製品開発や取引拡大等に向けた活動を支援していく。

・地元就業を促進するための企業説明会について、引き続き管内3大学の学生及び4実業高校の生徒を対象とし実施するが、コロナ禍にあっても事業を実施できるよう、オンラインを活用した事業内容も併せて検討する。また、企業が学校に出向き仕事を模擬的に体験してもらう職業体験会について、より早い段階からの取組となるよう、高校生に加え中学生も対象として実施する。

【令和3年度関連事務事業】

(単位：千円)

事業名	決算額 (予算額)	事業概要
地域中小企業連携促進事業費(置賜高付加価値産業支援事業)	475 (475)	・山形大学による研究事業化支援、有機エレクトロニクス関連技術の事業化事例等に関する講座の開催を支援(16名参加) ・コロナ禍における販路開拓・企業間連携についてのセミナーの開催を支援(21名参加)  (本庁予算)
地域中小企業連携促進事業費(置賜次世代ものづくり人材育成支援事業)	378 (475)	・若年技術者を対象とした機械装置の制御技術を学ぶ研修会の実施を支援 ・高校生を対象とした地域企業の協力のもと行うロボット製作学習や(7月～3月)、産業用ロボットを活用した技術講習会等の実施を支援  (本庁予算)
地域若者人材確保対策事業費(置賜地域高度人材確保対策事業)	674 (674)	・管内3大学の学生及び4実業高校の生徒を対象とした企業説明会を実施 ○山形大学工学部(バスツアーに替えて企業説明会実施) 参加企業7社、学生延べ7名参加 ○米沢栄養大学・米沢女子短期大学 (バスツアーに替えてオンライン座談会実施) 参加企業3社、学生3名参加 ○3大学学生及び保護者 (バスツアーに替えてオンライン座談会実施) 参加企業5社、学生9名参加 ○実業高校 参加企業延べ42社、生徒157名参加  (本庁予算)
人材確保・生産性向上推進事業費(新卒者等早期離職防止事業)	0 (164)	【新型コロナウイルス感染拡大により中止】 ・新卒者等の離職防止に向けて、企業経営者が若者の考え方を理解しなすべきことを学ぶ「経営者セミナー」及び入社3年目までの社員を対象とした交流会の開催  (本庁予算)
人材確保・生産性向上推進事業費(高校生と地域企業との交流事業)	62 (96)	・進学校の生徒を対象に地域の企業経営者や地域で働く先輩による講話を実施 米沢興譲館高校(1.2年生 49名参加) 長井高校(1.2年生全員(340名)参加)  (本庁予算)
計	1,589 (1,884)	

② 競争力の高い稼げる農業と「農と食」の連携による魅力の向上

K P I	園芸振興作物（9品目）の産出額					
	基準値（H30年度）： 25.5億円					
	指標値	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
		26.3 億円	27.2 億円	28.1 億円	29.0 億円	30.0 億円
	実績値	33.0 億円	26.9 億円			
	進捗状況	概ね順調に推移				
	繁殖雌牛頭数					
	基準値（H30年）： 2,819頭					
	指標値	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
		2,950 頭	3,000 頭	3,050 頭	3,080 頭	3,100 頭
	実績値	2,892頭	2,956頭			
	進捗状況	概ね順調に推移				
	地域農産物を活用した新商品の開発数（累計）					
	基準値（R1年度）： 6点					
	指標値	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
		11点	16点	21点	26点	31点
	実績値	11点	16点			
	進捗状況	指標値どおりに推移				
	生産基盤整備事業計画地区及び実施地区における新たな作物の導入面積（累計）					
	基準値（H30年度）： 20ha					
指標値	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	
	37ha	56ha	83ha	102ha	124ha	
実績値	24.6ha	32.1ha				
進捗状況	進捗又は横ばい					

## 【令和3年度における評価と見直しの方向性】

### (評価)

- ・品質、食味の高い産米の生産に取組み、作況指数102の「やや良」(12/8農水省公表)、うるち玄米の一等米比率93.7%(JA取扱)、つや姫96.7%(同)、雪若丸97.0%(同)と、良好な成績となった。
- ・水稻栽培におけるスマート農業導入推進を図るため、スマート農業技術研修会や、収量コンバイン実演会等を開催し、広く技術の周知を図った。
- ・えだまめでは基盤整備地区を中心とした新規作付けへの働きかけや選別・調整作業の分業化による規模拡大、アスパラガスではモデル展示ほを活用した新規栽培者の掘り起こし等により、栽培面積はえだまめで22.6ha、アスパラガスで6.5ha拡大した。
- ・「シャインマスカット」では摘粒による肥大が良く粒の揃った房づくりに向けた講習会、JA出荷者の個別巡回指導、冷蔵貯蔵前の選別指導等により高品質生産を図ったものの、7月の高温、8月の多雨の影響による品質低下などにより、出荷量は前年を下回った。
- ・4月の凍霜害により、さくらんぼ、ぶどう等の果樹を中心に花芽の枯死被害が発生し、出荷量減の要因となった。
- ・ダリアのハウス栽培における高温期の草勢管理実証ほを設置し、摘心方法による夏季の株枯れ防止のデータを収集した。結果は講習会等で提示し、来年度の栽培管理に生かしていく。
- ・管内の飲食店が「山形おきたま伝統野菜」を約1か月間提供するフェアを開催、16店舗が参加し、伝統野菜の活用促進を図った。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響で牛肉需要が落ち込んだ時期もあったが、繁殖雌牛の増頭を推進する各種補助事業を活用し64頭の増となった。
- ・商品開発に取り組む団体等に対する加工・保存等の技術支援や研修会の開催により、切り餅加工品など5点の新商品の開発につながった。また、コロナ禍での販売促進のため、ネット販売に取り組むための研修会を開催した。
- ・生産基盤整備事業実施地区の営農検討会とJA等が連携して取り組んでいるえだまめやさといもの実証栽培により高収益作物の作付面積は増加しているが、ほ場整備工事のため作付けできない圃場があること及び栽培技術の習得や販路の確保などの課題から、生産基盤整備事業計画地区及び実施地区における新たな作物の導入面積(累計)については、目標に達するまでに至らなかった。

### (見直しの方向性)

- ・産米の高品質、良食味米の安定生産に向けて、斑点米カメムシ類対策の徹底等重点課題の解決や、スマート農業技術の導入推進を図っていく。
- ・アスパラガスでは新規栽培者の掘り起こしを継続する。
- ・えだまめでは産地規模の更なる拡大を図るため、規模拡大を想定した経営モデル作成し、規模拡大へと誘導を図っていく。
- ・シャインマスカットは引き続きJA生産組織等を対象とした栽培指導、栽培初心者への個別指導により高品質安定生産を進める。
- ・さくらんぼ、ぶどう、りんごなどの果樹の着果安定を図るため、降霜対策機材の活用の促進とともに、県作成の「果樹凍霜害防止対策マニュアル」を活用した技術指導により、被害防止対策の徹底を図る。
- ・ダリアでは、定植時期や摘心方法の組合せにより、需要期における継続出荷を目的とした体系の実証を行う。
- ・伝統野菜のフェアは今年度、冬期に開催したが、来年度は夏期に行って様々な伝統野菜の消費拡大・PRを図っていく。
- ・繁殖雌牛の増頭支援と併せ、繁殖農家の生産性向上を図るためのモデル実証事業を実施(母子同居による離乳技術及び吸血昆虫に起因する牛の放牧ストレス軽減対策)。
- ・新型コロナウイルスの影響等によりネット販売で売上げを伸ばす方法に加え、ネット販売と実店舗を組み合わせた販売手法について支援する。

・生産基盤整備事業完了の2年後を目途に営農計画の実現を目指して取り組んでいるが、年度ごとに高収益作物の面積目標を定めながら、JA等の関係団体及び生産振興担当部署との連携を強化して継続的な支援により作付面積拡大を図っていく。

【令和3年度関連事務事業】

(単位：千円)

事業名	決算額 (予算額)	事業実施状況
第2期山形枝豆・夏すいか日本一プロジェクト事業費ほか(置賜園芸産地強化支援事業)	613 (613)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・えだまめ：出荷時期拡大(7月出荷)のための極早生品種の検討(1ヶ所)</li> <li>・アスパラガス：堆肥運搬や病害虫防除の省力化のための幅広通路の実証ほの設置(1ヶ所)</li> <li>・ダリア：川西ダリヤ園育成品種のハウス栽培適応性調査(1ヶ所) (本庁予算)</li> </ul>
地域園芸産地技術開発・支援事業費	1,283 (1,283)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アルストロメリアの新品種比較(19品種調査)、ダリアの品種比較(良日持ち性3品種調査) (本庁予算)</li> </ul>
地域農業振興会議費	1,738 (1,738)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・えだまめ：新規栽培者等研修会(1回、50名参加)</li> <li>・アスパラガス：新規栽培者の育成を目的としたモデル展示ほの設置(9ヶ所)</li> <li>・きゅうり：自動灌水・追肥による省力技術の実証ほ設置(1ヶ所)</li> </ul>
食の至宝雪国やまがた伝統野菜推進事業費(山形おきたま伝統野菜振興事業)	267 (267)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道の駅や飲食店等との連携によるプロモーションの実施 (本庁予算)</li> </ul>
やまがたの和牛増頭戦略事業費(おきたまの和牛増頭事業)	516 (516)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分娩間隔短縮のため、子牛への「へら型鼻かん」装着と母牛へのホルモン剤投与で母子同居による離乳技術をモデル的に実施</li> <li>・子牛の検証(川西町2戸及び小国町1戸の肉牛農家) ⇒ 離乳時期(生後約4か月)を迎えた1か月間の前後2回調査し、鼻かん装着(12頭)は未装着(10頭)と比較して、増体が1.4倍程度上回る傾向にあった。</li> <li>・母牛の検証(川西町、小国町の2戸の肉牛農家) ⇒ 母牛のホルモン剤投与(11頭)による効果は検証中(各農家における前回の分娩間隔実績値と比較する) (本庁予算)</li> </ul>
自給飼料生産対策事業費(耕畜連携による簡易放牧拡大事業)	200 (200)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・吸血昆虫による牛の放牧ストレスを軽減するため、従来のアブ捕獲器の設置と併せ、繁殖牛をゼブラ柄に塗装する技術を検証。</li> <li>・検証場所：小国町内の肉牛農家</li> <li>・検証期間：8月から10月の4回</li> <li>・ゼブラ柄に塗装した牛(3頭)と塗装しない牛(3頭)の吸血昆虫を忌避する行動量(頭を振る、耳を動かす、足踏み、尾を振る)をカウント ⇒ ゼブラ柄に塗装した牛は、塗装しない牛に比べ、忌避行動量が6割程度減少し、吸血昆虫によるストレスが軽減 (本庁予算)</li> </ul>

6次産業化総合推進事業費ほか（おきたま6次産業事業化推進事業）	436 (436)	・ ネット販売を6次産業化の販売戦略として取り入れる手法について、セミナーを開催（参加者45人） ・ 置賜地域の農家自らが運営している農家レストランを紹介するパンフレットの作成  (本庁予算)
水田畑地化基盤強化対策事業費（栽培実証ほ調査）	2,000 (2,000)	・ 大塚西部地区、上萩野地区（川西町）、草岡地区（長井市）において枝豆を実証栽培 ・ 成田地区（長井市）において里芋の実証栽培を実施  (本庁予算)
計	7,053 (7,053)	

### ③ 置賜版「森林ノミクス」の展開

K P I	置賜産材の木材（素材）生産量					
	基準値（H30年度）： 109千m <sup>3</sup>					
	指標値	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
		135 千m <sup>3</sup>	140 千m <sup>3</sup>	145 千m <sup>3</sup>	150 千m <sup>3</sup>	155 千m <sup>3</sup>
	実績値	104千m <sup>3</sup>	101千m <sup>3</sup>			
進捗状況	策定時を下回る					

#### 【令和3年度における評価と見直しの方向性】

<p>（評価）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 従来の境界明確化の手法に加え、立会い及び測量作業の効率化が可能なレーザー測量の活用等により米沢市、南陽市、飯豊町南部の測量を進め、置賜全体での森林境界明確化を推進した。</li> <li>・ 林道開設事業において、白鷹町の白鷹東部線（100m）、小国町の沼沢線（538m）の2路線を継続して開設し、木材搬出等の基盤を整備した。</li> <li>・ 置賜産木材の安定供給に向け、森林経営計画の作成を米沢市で38ha実施するとともに、米沢地方森林組合に対しハーベスタ導入補助、西置賜ふるさと森林組合に対しグラップル付きバックホウ導入のための貸付支援を行った。</li> <li>・ 置賜「地材地住」ネットワークと連携し、置賜産木材を活用した住宅、店舗等の非住宅施設の建築をPRするとともに、県産木材を活用した住宅24戸、店舗等の非住宅施設4戸の建築に対する支援を実施した。</li> <li>・ 源流の森で森づくり活動の指導を行う「森の案内人」について、木育のスキルを習得できるよう養成講座を開催し、42名が受講し、このうち7名が源流の森インタープリターとして登録され、県民が森林資源を率先利用する意識を醸成した。</li> </ul> <p>（見直しの方向性）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ これまでの森林境界の調査方法（現地調査、現地実測）では時間を要することから、引き続き航空レーザー測量を活用し、効率的に森林境界明確化を加速化する。</li> <li>・ 置賜地域の豊富な広葉樹資源の需要拡大に向け、引き続きメーリングリストを活用した需給情報の情報発信を行い、川上と川下の需給情報のマッチングを進める。</li> </ul>
--



・源流の森で森づくり活動の指導者を行う「森の案内人」について、引き続き木育のスキルを習得できるよう養成を行い、木材を率先利用する県民意識の向上につなげる。

【令和3年度関連事務事業】

(単位：千円)

事業名	決算額 (予算度)	事業実施状況
やまがた森林ノミクス推進事業費 (置賜産材需給安定化対策事業)	217 (217)	・置賜産木材の安定供給体制の構築に向けた検討会議を開催 (チップ生産現場での用材選別の検討)、素材生産量の実態調査  (本庁予算)
森林病虫害防除事業費 (「置賜の森をみんなの手で」事業)	300 (300)	・置賜地域の森林病虫害獣被害の拡大抑制、軽減及び新たな被害発生阻止を図るため、「置賜森林病虫害獣対策協議会」の活動の支援 (クマハギ被害対策研修会 1回 15名参加) (森林病虫害二次被害対策研修会 1回 15名参加) (森林病虫害獣基礎研修会 1回 16名参加)  (本庁予算)
おきたま源流の森づくり活動推進事業費	287 (323)	・県民参加の森づくりの推進に向けた環境整備及び森づくり活動等の指導者の育成・確保 (源流の森インタープリターとして7名登録)
計	804 (840)	

④ 置賜ならではの資源を戦略的に活用した誘客の促進とインバウンドの拡大

K P I	観光者数					
	基準値 (H30 年度): 8,990 千人					
	指標値	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
		—	— ※1	9,400 千人	9,500 千人	9,600 千人
	実績値	5,806 千人 (直近値)	—			
	進捗状況	その他 (新型コロナの影響で指標値を設定せず)				
	外国人旅行者受入数					
	基準値 (H30 年): 15,686 人					
	指標値	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
		—	— ※2	28,000 人	33,000 人	38,000 人
実績値	7,753 人	1,045 人 (速報値)				
進捗状況	その他 (新型コロナの影響で指標値を設定せず)					

※1 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う観光イベントの中止や県域を越える移動の制限など、令和3年度の動向について見通すことが困難であったため。

※2 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に係る入国制限が行われており、令和3年度の動向について見通すことが困難であったため。

【令和3年度における評価と見直しの方向性】

(評価)

- ・新型コロナからの管内観光業の回復に向け、比較的感染が少ない県民や近隣県からの観光客をターゲットにした誘客を図るため、観光施設や宿泊施設の利用客に対する優待施設での割引等の優待を322人に実施したほか、管内の道の駅等11施設でプレゼント企画を展開した。
- ・「道の駅米沢」を拠点に置賜地域全体への観光客の周遊・滞在を促すため、地域内の観光素材を紹介する動画のデジタルサイネージでの放映や、地域の観光イベントの優待券となるイベントナビカード事業を実施し、道の駅利用者に積極的に情報発信を行った。
- ・置賜地域ならではの観光資源を生かした誘客に向けて、伊達家家臣らによって置賜全域に築かれた城館跡について、新たな観光資源としての磨き上げを図った。具体的には、主な城館跡48箇所を紹介するパンフレット及びウェブページ並びにのぼり旗を制作したほか、東北DC期間に合わせ「花×伊達な城館ウォーク」を全市町で実施した。また、県内4地域で唯一全市町にある鉄道駅と周辺施設を巡るスタンプラリーを実施し、350人から賞品への応募があった。
- ・新型コロナ収束後のインバウンド受入拡大に向けて、観光事業者によるSNS等を活用した効果的な情報発信の方法を学ぶセミナーを開催した。なお、観光事業者等に対する外国人旅行者対応研修会は、実施前日に発生した地震により開催が困難となり令和4年度に延期とした。
- ・冬季間の観光客入込みの増加を図るため、置賜地域と上山市の観光事業者や行政等が連携し、「やまがた冬のあった回廊キャンペーン」の取組みを実施した。令和3年度は、特に、西置賜1市3町を重点PR地域として誘客促進に取り組んだ。
- ・「西置賜地域みらい創造研究会」では、観光素材のパンフレットを作成し西置賜地域への周遊

促進・交流人口拡大に取り組んだ。

(見直しの方向性)

- ・新型コロナからの管内観光業の回復に向け、引き続き置賜地域の観光の安全・安心情報をSNS等で情報発信するとともに、比較的感染が少ない、県民や近隣県等をターゲットとした観光誘客の取組みを推進する。
- ・置賜地域ならではの観光資源を生かした誘客に取り組み、観光客の周遊や滞在を促す仕組みを構築する。
- ・新型コロナウイルスの収束を見据え、地域における外国人観光客の受入態勢づくりや情報共有、外国人旅行者等への情報発信を一層進めていく。
- ・グリーン期に比べ減少する冬の誘客拡大に一層取組み、通年観光を促進する。
- ・引き続き、西置賜地域への周遊促進・交流人口の拡大を図る取組みを実施する。

【令和3年度関連事務事業】

(単位：千円)

事業名	決算額 (予算額)	事業実施状況
観光振興推進事業費	2,100 (2,100)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山形おきたま観光協議会の運営支援 「行ってみて!『おきたま』ミニ動画コンテスト」の実施(26作品応募) 「道の駅等でのおもてなしプレゼント」の実施 等</li> <li>・やまがた冬のあった回廊キャンペーン実行委員会の運営支援 宿泊客等に対するプレゼント企画の実施(1,117件応募) 重点PR地域の冬の観光コンテンツ作り支援(5企画) バスツアー造成への補助(2ツアー、38名催行) 等</li> <li>・置賜さくら回廊観光推進会議の取組支援 パンフレット及びポスターの作成 等</li> </ul>
地域広域観光推進事業費	2,274 (2,274)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管内の「道の駅」との連携を強化し、地域全体への観光客の周遊を促すための対策 「イベントナビカード」事業の実施(4イベント)</li> <li>・置賜地域ならではの観光資源を生かした誘客対策 伊達家家臣らによって置賜全域に築かれた主要48箇所の城館跡を紹介するパンフレット及びウェブページ並びにのぼり旗の制作</li> <li>・近隣県や県内他地域との連携による誘客対策 「新潟村上いわふね×山形おきたま道の駅スタンプラリー」の実施(応募713件)</li> <li>・観光案内ガイドのスキルアップ支援 観光ガイドスキルアップ研修支援</li> <li>・外国人観光客受入れ拡大に向けた情報発信の方法や受入態勢の整備を図るための調査 口コミ投稿型サイト・SNS等活用検討会の開催(2回 延参加者39名) 冬の広域周遊モデルルート作成(2コース) (本庁予算)</li> </ul>
新たな交流を生み出す地域・まちづくり推進事業	10 (10)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「越後米沢街道・十三峠交流会」と連携し、十三峠を含む越後米沢街道の歴史的価値を高め魅力発信を図るための連携及び情報交換</li> </ul>

費（越後米沢街道・十三峠活用整備支援事業）		
新たな交流を生み出す地域・まちづくり推進事業費（次代に繋ぐ土木史跡活用保全事業）	656 (663)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・河川管理者の県、公園管理者の米沢市、地元河川愛護活動団体が協働で、直江石堤周辺の除草・伐木を実施し、環境保全を図った。</li> <li>・入山記帳所の案内標識を設置し、訪問者の利便性向上及び安全確保を図った。</li> </ul>
総合支庁地域政策推進費（西置賜地域課題解決推進事業）	120 (120)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西置賜の地域資源PRパンフレット「つながるやまがた西置賜“みづは”ものがたり」を作成 置賜地域の道の駅、観光案内所、温泉旅館等に配付 (2,500部発行)</li> </ul>
計	5,160 (5,167)	

## 2 「置賜」の持続的発展を支える、活力あふれる地域社会の形成

### 取組みの成果

#### ⑤ 結婚支援や妊娠・出産から子育てまでの切れ目のない支援体制の推進

K P I	「置賜地域みんなで子育て応援団」の賛助会員数（累計）					
	基準値（R1年度）： 61 団体					
	指標値	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
		81 団体	86 団体 (113 団体)	91 団体 (118 団体)	96 団体 (123 団体)	100 団体 (125 団体)
	実績値	108 団体	114 団体			
進捗状況	指標値どおりに推移					

※ 括弧書きは、第4次山形県総合発展計画実施計画に掲げた指標を上回る独自の指標

#### 【令和3年度における評価と見直しの方向性】

##### （評価）

- ・ 結婚支援者、結婚支援活動団体の取組みについて、情報交換会での情報共有により市町の枠組みを超えた広がりを実現
- ・ 子育て支援関係団体相互のネットワークが構築され、応援団賛助会員数も指標値超えを達成
- ・ 子育て世代包括支援センターにおいて、産後ケア事業等の提供サービスが増加
- ・ 各市町における発達障がい児等への支援として、保育所等への巡回相談が充実

##### （見直しの方向性）

- ・ 婚活事業の更なる広域的展開に向けて、結婚支援者等が不在の市町と連携し、新たな結婚支援者の掘り起こしを図る。
- ・ 子育て支援団体と市町との意見交換を実施し、更なる連携の強化を図りながら、正会員、賛助会員が参画した地域ぐるみの子育て支援活動を管内に展開していく。
- ・ 産後ケア事業等の取組みの更なる充実により、安心して子育てができる支援体制を確保する。
- ・ 関係機関との連携による発達障がい児、医療的ケア児への支援  
⇒置賜地域気になる子支援ネットワーク、医療的ケア児支援連絡会による支援策の検討

#### 【令和3年度関連事務事業】

（単位：千円）

事業名	決算額 （予算額）	事業実施状況
結婚支援事業	0	・ 結婚支援情報交換会の開催（4回：参加者延べ108名） （ゼロ予算事業）
子育て県民運動推進費（地域みんなで子育て応援団事業）	108 (270)	・ 応援団会議（2回）、情報交換会（2回）の開催 ・ 支援者研修（1回：参加者9名） ・ 応援団ホームページ「ウキウキたむたむ」の保守管理 （本庁予算）
誰もが安心して暮らせる地域づくり推進事業費	139 (139)	・ 「置賜地域気になる子支援ネットワーク」会議を開催（2回開催、延べ69名参加）し、関係機関との連携を強化 ・ 支援者向け「ペアレントサポート講座」を開催（春と秋の

(安心子育て支援事業)		2回開催、延べ45名参加
計	247 (409)	

⑥ 幅広い世代が住み慣れた地域で、健康で安心して暮らすための取組みの推進

K P I	医療機関、介護施設、在宅ケアの円滑な調整役となる看護職の養成数 (職場交流研修受講者数)					
	基準値 (R1年度): 22人					
	指標値	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
		—	—※1	32人	36人	40人
	実績値	8人	0人			
	進捗状況	その他(新型コロナの影響で指標値を設定せず)				
	置賜発の低栄養予防レシピを学んだ地域住民数(累計) (食生活改善推進員等による直接伝達人数)					
	基準値: —					
	指標値	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
		—	7,200人	10,800人	14,400人	18,000人
実績値	3,822人	5,492人				
進捗状況	進捗又は横ばい					

※1 新型コロナウイルス感染症への対応により、病院看護職の研修実施が極めて困難であり、令和3年度の状況について見通すことが困難であったため。

【令和3年度における評価と見直しの方向性】

(評価)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症への対応により看護職は多忙を極め、職場交流研修は極めて困難な状況だった。</li> <li>・「医療・介護合同会議」については、新型コロナ対応により実施できなかった。</li> <li>・低栄養予防については、新型コロナにより対面による伝達や集会の実施が困難な状況にあり、指標とする数値には届かなかったが、Webを活用した情報提供の回数を多く実施できた。</li> </ul>
(見直しの方向性)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・Web等の活用により、実施できる方法を検討しながら継続する。</li> </ul>

【令和3年度関連事務事業】

(単位:千円)

事業名	決算額 (予算額)	事業実施状況
地域医療提供体制の推進(訪問看護体制)	66 (441)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・看護職の職場交流研修は実施できなかったが、リソースによるYoutube配信による研修会を実施。</li> <li>・「医療・介護合同会議」は実施できず。</li> <li>・西置賜地域訪問看護事業所管理者等による訪問看護体制の充実強化にかかる検討会を実施。(7事業所12人参加)</li> </ul> <p>(本庁予算)</p>

誰もが安心して暮らせる地域づくり推進事業費（“おきたま”元気で長生き健康増進支援事業）	106 (106)	・健康な食事に関するアンケート調査（企業従業員 290 名） ・動画によるレシピメニューの発信 6 番組 ・Web による情報提供 ・低栄養予防研修会の開催（Web 35 名参加）
計	172 (547)	

⑦ 郷土愛を育み、互いに輝きあう地域づくりの推進

K P I	置賜地域の高校卒業者の県内定着率（地元就職率）					
	基準値（H30 年度）： 75.0%					
	指標値	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
		76.4%	77.8%	79.2%	80.6%	82.0%
	実績値	74.0%	81.5%			
	進捗状況	指標値どおりに推移				
	置賜の魅力を発信する SNS のフォロワー数					
	基準値（R1 年）： 200 人					
	指標値	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
		300 人	400 人 (1,000 人)	500 人 (1,400 人)	550 人 (1,700 人)	600 人 (2,000 人)
	実績値	620 人	1,010 人			
	進捗状況	指標値どおりに推移				
	農山村の元気な地域づくりに向けた行動計画策定地区数（累計）					
	基準値（H30 年度）： 8 地区					
	指標値	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
		10 地区	12 地区	14 地区	16 地区	18 地区
実績値	10 地区	12 地区				
進捗状況	指標値どおりに推移					

※ 括弧書きは、第 4 次山形県総合発展計画に掲げた指標を上回る独自の指標

【令和3年度における評価と見直しの方向性】

<p>(評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学生の管内定着を促進するため、管内3大学の学生及び4実業高校の生徒を対象に企業説明会（バスツアーによる現地説明会やオンライン説明会）を実施した。新型コロナウイルス感染拡大の影響等により、企業説明会（バスツアー）を計画したものの直前で中止となったものもあったが、事前にオンラインを活用した内容へ変更し実施できたものもあった。</li> <li>・地元企業の情報に触れる機会の少ない進学校の生徒を対象に、地域企業経営者等の講演会を実施した。</li> <li>・置賜の地域づくり等で活躍する若者や若手行政職員で組織する「おきたま元気創造ラボ」において、高校生などの若者を対象とした置賜の魅力を体験する企画などを通して、若者の地域への愛着や誇りの醸成に努めた。また、地域で活動する若者団体を対象とした交流会を開催し、若者団体の横のつながりの促進に努めた。</li> <li>・移住セミナー「やまがたハッピーライフカフェ」開催等の置賜地域移住交流推進協議会の取組を通して、置賜地域への移住・交流の促進に努めた。</li> <li>・管内2地区において地域内での話し合いを支援しながら、農村地域に存在する有形・無形の地域資源を活かした地域づくりを推進した。（白鷹町東根地区：東陽の里づくり計画（改訂版）を策定、川西町玉庭地区：集落戦略を策定）</li> <li>・農村における豊富な地域資源の更なる活用に向け、「知って」「感じて」「味わって」をコンセプトに、地域での話し合いのきっかけとなるように置賜の「水」をテーマとしたガイドブックを作成し、関係機関、団体へ配布した。</li> </ul> <p>(見直しの方向性)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元就業を促進するための企業説明会について、引き続き管内3大学の学生及び4実業高校の生徒を対象とし実施するが、コロナ禍にあっても事業を実施できるよう、オンラインを活用した事業内容も併せて検討する。また、企業が学校に出向き仕事を模擬的に体験してもらう職業体験会について、より早い段階からの取組となるよう、高校生に加え中学生も対象として実施する。</li> <li>・若者の地域への愛着や誇りの醸成を更に進めるため、高校生や大学生など、より多くの若者を取り込める企画を実施するとともに、若者活動の更なる活性化に向けて、若者間の連携の創出に向けた取組を行う。</li> <li>・地域づくり活動を推進するための様々な支援制度を活用しながら持続可能な地域づくりを支援していく。</li> </ul>
--

【令和3年度関連事務事業】

(単位：千円)

事業名	決算額 (予算額)	事業概要
地域若者人材確保対策事業費(置賜地域高度人材確保対策事業) (再掲)	674 (674)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管内3大学の学生及び4実業高校の生徒を対象とした企業説明会を実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>○山形大学工学部（バスツアーに替えて企業説明会実施） 参加企業7社、学生延べ7名参加</li> <li>○米沢栄養大学・米沢女子短期大学 （バスツアーに替えてオンライン座談会実施） 参加企業3社、学生3名参加</li> <li>○3大学学生及び保護者 （バスツアーに替えてオンライン座談会実施） 参加企業5社、学生9名参加</li> <li>○実業高校 参加企業延べ42社、生徒157名参加 (本庁予算)</li> </ul> </li> </ul>



人材確保・生産性向上推進事業費（高校生と地域企業との交流事業）（再掲）	62 (96)	・進学校の生徒を対象に地域の企業経営者や地域で働く先輩による講話を実施 米沢興譲館高校（1.2年生 49名参加） 長井高校（1.2年生全員（340名）参加）  (本庁予算)
多様な主体による協働推進事業費（若者による置賜の元気創造事業）	319 (499)	・「おきたま元気創造ラボ」において、高校生などの若者が置賜の魅力体験や地域で活躍する方との交流等を行う企画の開催。また、若者の視点からSNS等で置賜の魅力（映えスポット、アウトドア、食、文化等）を発信 ・地域で活動する若者団体を対象とした交流会をオンライン方式で開催
置賜文化活動推進事業費	615 (1,387)	・置賜管内の3市5町及び文化芸術団体等と連携して運営する「置賜文化フォーラム」を通じて、置賜地域の文化芸術活動を支援 ・住民団体が行う文化芸術事業への助成（5団体） ・置賜地域で活動する若手アーティストの魅力発信事業（若手アーティスト奨励賞を設け3名を表彰） ※当初計画した置賜こども芸術祭は新型コロナの影響により中止
芸術文化振興事業費	3,916 (4,068)	・置賜文化ホールで企画・実施する地域の文化創造事業や音楽関係事業への支援（ジャズ、狂言など）
元気な地域づくり支援プロジェクト総合支援事業費	462 (504)	・「白鷹町東根地区」における東陽の里づくり計画の見直し、「川西町玉庭地区」における中山間地域集落戦略づくりに向けて地域内での話し合いを支援し、2地区の行動計画を策定 ・農村における地域資源の更なる活用に向けた資料（パンフレット）を作成 (本庁予算)
がんばる中山間農業・農村省力化パイロット事業費	1,583 (1,583)	・「白鷹町小山沢地区」「白鷹町中山地区」、「川西町玉庭地区」、「南陽市漆山地区」における草刈り隊の設立、営農省力化に向けた機材導入を支援し、また、「白鷹町深山地区」における農村地域運営の計画づくりを支援 (本庁予算)
計	7,631 (8,811)	

### 3 人々の交流で賑わう「置賜」を支え、地域の価値を高める社会基盤の形成

#### 取組みの成果

#### ⑧ 高速交通ネットワークの形成促進

K P I	新潟山形南部連絡道路、一般国道 287 号米沢長井道路の供用率（東北中央自動車道含む）					
	基準値（R1 年度）： 49%					
	指標値	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
		49%	49%	49%	61%	61%
	実績値	49%	49%			
進捗状況	指標値どおりに推移					

#### 【令和 3 年度における評価と見直しの方向性】

（評価）

- ・新潟山形南部連絡道路建設促進啓発活動（新聞への P R 広告掲載）に補助金を交付した。
- ・関係市町との連携による計画的な一般国道 287 号米沢長井道路の整備促進を図った。

（見直しの方向性）

- ・これまでの取組により、小国道路が令和元年度に新規事業着手となり、梨郷道路が令和 5 年度に開通見込となった。引き続き、梨郷道路、小国道路の事業推進及び未事業化区間の新規事業化に向けて、関係団体と連携した要望活動や啓発活動を展開する。
- ・中期計画期間内における一般国道 287 号米沢長井道路の完成・供用を目標に、事業の整備促進を図る。

#### 【令和 3 年度関連事務事業】

（単位：千円）

事業名	決算額 （予算額）	事業概要
交通ネットワーク形成促進事業費（置賜道路ネット強化事業）	100 (100)	・新潟山形南部連絡道路整備促進の PR 広告（新聞広告）について補助金を交付 ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、各種イベント・大会、要望活動等は未実施
道路改築事業費	2,613,300 (2,613,300)	・橋梁工事、道路改良工事、用地補償  (本庁予算)
計	2,613,400 (2,613,400)	

⑨ 地域公共交通の充実・確保

K P I	置賜地域における公共交通機関（JRを除く）の一人当たりの利用回数					
	基準値（直近3ヵ年平均）： 4.8回					
	指標値	R2	R3	R4	R5	R6
		—	— ※	4.8回	4.8回	4.8回
	実績値	3.2回	3.7回			
進捗状況	その他（新型コロナの影響で指標値を設定せず）					

※ 緊急事態宣言を踏まえた全国的な外出自粛により、令和3年度の動向について見通すことが困難であったため。

【令和3年度における評価と見直しの方向性】

<p>(評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・置賜地域の重要な地域公共交通であるフラワー長井線を運行する山形鉄道に対し、沿線2市2町とともに財政支援を行うとともに、R3～7年度を計画期間とする経営改善計画を推進するための助言等のサポートを行った。</li> <li>・フラワー長井線の利用拡大を図るため、沿線2市2町及び地域の関係機関・住民団体等と連携して組織する利用拡大協議会を通じて、沿線の企業と高校生とが連携して山形鉄道のオリジナルスニーカーを開発したASHI（あし）プロジェクトを実施するなど、地域のマイルール意識の高揚を図るとともに地域内外に情報発信する取組みを推進した。</li> <li>・山形県地域公共交通活性化協議会の置賜地域部会を開催し、国・市町・交通事業者等の関係者で置賜地域の公共交通の現状や課題等について協議・調整を行うとともに、管内各市町が主催する地域公共交通会議に参画し、情報提供や助言を行った。</li> </ul> <p>(見直しの方向性)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・山形鉄道の経営改善計画（R3～7年度）を踏まえ、沿線2市2町とともに、新型コロナが山形鉄道の経営に与えている影響を勘案しつつ、山形鉄道の経営改善や利用拡大の取組みを支援していく。</li> <li>・山形県地域公共交通計画（R3～7年度）を踏まえ、国・市町・交通事業者等と連携して、地域の実情に応じた地域公共交通の確保と利便性の向上等に向けた取組みを推進していく。</li> </ul>
--

【令和3年度関連事務事業】

(単位：千円)

事業名	決算額 (予算額)	事業概要
フラワー長井線 活性化事業費	36,460 (36,474)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フラワー長井線を運行する山形鉄道に対して、沿線2市2町とともに、経営改善に係る助言等を行うとともに、鉄道施設等の維持修繕等に係る財政支援を行った。</li> <li>・フラワー長井線利用拡大協議会を通じて、ASHI（あし）プロジェクトなど利用拡大に向けた取組みを展開した。</li> </ul>
計	36,460 (36,474)	

⑩ 再生可能エネルギーの導入促進による脱炭素社会形成の推進

K P I	小規模な再生可能エネルギーの導入量（累計）					
	基準値（H30年度）： 3,061kW					
	指標値	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
		3,200kW	6,400kW	9,600kW	12,800kW	16,000kW
	実績値	2,628kW (直近値)	—			
進捗状況	策定時を下回る					

【令和3年度における評価と見直しの方向性】

<p>(評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>再生可能エネルギー等の導入促進のための講演会は、新型コロナの影響でウェブ開催となり、実地見学会等の断念など思うような効果が得られなかった。</li> <li>協議会等の場において、再エネ設備導入に活用できる補助金のチラシ作成・配布など、導入促進の取組みを実施した。</li> </ul> <p>(見直しの方向性)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>太陽光発電、バイオマス発電と比較して、導入が進んでいない熱利用設備やV2H等の普及に注力していく。</li> <li>再生可能エネルギー等の導入促進のための講演会については、県の補助金を活用しやすい時期に開催するなど実施効果を高める。</li> </ul>
---

【令和3年度関連事務事業】

(単位：千円)

事業名	決算額 (予算額)	事業実施状況
環境保全活動推進事業費（環境先進地形成推進事業）	132 (158)	<ul style="list-style-type: none"> <li>再生可能エネルギー等の導入促進を図るための協議会開催</li> <li>木質バイオマス燃焼機器に特化した山形県再生可能エネルギー等設備導入事業費補助金のチラシの作成</li> <li>分野別再エネ導入講演会の開催</li> </ul>
計	132 (158)	

⑪ 安全・安心で暮らせる地域づくりの推進

K P I	自主防災組織の組織率					
	基準値 (R1 年度) : 83.3%					
	指標値	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
		85%	87%	89%	92%	95%
	実績値	84.9%	84.8%			
進捗状況	概ね順調に推移					

【令和3年度における評価と見直しの方向性】

<p>(評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市町の防災担当者による研修会を開催し、最近の豪雨災害における対応状況や課題等の共有を図った。</li> <li>・市町と連携しハザードマップの見直しに伴う要配慮者利用施設の把握を進めるとともに、その情報を保健福祉部門と共有し関係施設への避難確保計画作成に係る周知への協力を依頼した。</li> </ul> <p>(見直しの方向性)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍において自治会活動、集会等が自粛傾向のため、市町と連携し自主防災組織の結成や活動活性化の核となる人材へ個別に働きかけを行う。</li> <li>・災害に関する情報の変化等を踏まえながら研修会等により応急対応力の向上を図る。</li> <li>・市町や施設を所管する行政機関、河川管理者等と連携しながら、要配慮者利用施設に係る制度の周知を図る。</li> </ul>
--

【令和3年度関連事務事業】

(単位：千円)

事業名	決算額 (予算額)	事業概要
安全安心地域づくり推進事業費	209 (209)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時の被害最小化を図るため、地域防災力の中心となる自主防災組織の育成・強化、災害に強い防災体制の整備</li> <li>・市町防災・災害復旧担当職員等を対象とした災害時の応急対応力向上や課題・ノウハウの共有のための研修会の開催</li> </ul>
計	209 (209)	